

# 家庭・学校・地域の連携強化

## 地域とともに歩む学校づくり

— P T A と連携したコミュニティ・スクールの推進 —

津島市立暁中学校 P T A

### 1 はじめに

地域から学校への一方向の支援を地域と学校が互いに協力し合う双方向の連携・協働の取組を発展させるため、平成30年度に市内12小中学校が「学校支援地域本部」から「地域学校協働本部」に移行した。

本校では、令和2年度にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、地域の未来を担う次世代の育成と、少子・高齢化が進む地域のまちづくりの両面から地域連携を推進している。

本校の学校運営協議会には、教員、地区コミュニティ、保護司、民生委員、P T A 役員が参加し、それぞれが現状を共有しながら、学校運営に対する共通理解のもとで課題解決に向けた実質的な協議を行っている。



【学校運営協議会の様子】

### 2 研究への取組

地域連携が進む一方で、生徒、保護者、教職員の学校運営協議会への関心が十分に高いとは言えない現状がある。また、地域ボランティアの固定化やP T A活動の負担の偏りといった課題も見られる。

こうした課題を踏まえ、本事業では、学校・P T A・地域が相互に信頼し支え合う関係を築き、コミュニティ・スクールの持続可能な体制を整えることで、地域とともに未来を創る学校づくりを進めていく。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 絵本読み聞かせ（毎月第4金曜日）

月1回の頻度で、朝の読書時間に地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。対象は特別支援学級の生徒である。ボランティアの方からは、「生徒が真剣に話を聞いてくれるので読みがいがある」といった声があがり、絵本選



【読み聞かせの様子】

びにも余念がなかった。

また、12月の人権週間には全校生徒対象の読み聞かせを実施した。生徒からは「大きくなつてから絵本に触れることがあまりないが、小さいときだけではなくて、今にも通じることがあって、すごいと思った」

「色々な人が暮らすこの世界では、互いの違いや個性を認め合うことが必要だと考えさせられた」といった感想が寄せられた。

## (2) ふるさと津島・あかつきの日

令和3年度より学校・家庭・地域がつながる行事「ふるさと津島・あかつきの日」の開催に向けて協議を重ねてきた。本校のめざす生徒像の一つ、「地域を愛し、地域から学び、地域に貢献ができる生徒」を意識し、「防災」「天王祭」「津島の歴史・文化」の3つのテーマで学ぶ行事を令和5年度から始め、今年度は「津島の歴史・文化」について取り組んだ。津島の伝統料理の「もろこ寿司」について中学生ボランティアとコミュニティ・スクールが協力して取材活動を行い、資料を作成した。そして、文化祭で資料を展示し、保護者の目に触れる機会を設けた。取材をした生徒からは「『もろこ寿司』といった郷土料理があることさえ知らなかった。取材活動をして、古くから伝わる料理を今でも残している人から話を直接聞くことができ、とても興味をもった」と感想があった。



【取材活動の様子】

また、天王中学校学校運営協議会会长で、津島神社で働いてみえる講師の方に「尾張津島天王祭」で演奏される伝統楽器について全校生徒、保護者、コミュニティ・スクール対象に講演をしていただいた。講演の途中、龍笛の生演奏もあって、PTAや生徒達からは「美しい音色でいつまでも聴いてみたい」といった感想があがった。

## (3) 親子協働除草作業

学校祭前に、学校、家庭、地域の方々と一緒に環境整備を行った。地域の回覧板で除草作業のボランティアを募り、PTAには紙媒体の案内とメールで依頼した。「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに、PTAと地域が連携し、ボランティア活動の基盤づくりに努めている。当日は、PTAと地域の方を合わせて約30名が集まり、全校



【除草作業の様子】

生徒と除草作業を通して、交流を深めることができた。

#### (4) 協働避難体験

唐臼こども園の避難体験に中学3年生が参加し、園児が避難所である中学校まで安全に避難できるよう補助を行った。地域のボランティアやPTAには園児と中学生が往復する道中、交通安全に気を付けるよう見守りをしていただいた。中学生は地域との連携・協働を通して、地域の一員としての意識を高め、地域に貢献する姿勢を育てることができた。また、体育館に避難した園児に向けて地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施した。



【協働避難体験の様子】

#### (5) 歳末助け合い運動

毎年、12月末に学区のスーパーでコミュニティ・スクールが募金活動を行っている。9名の生徒がボランティアで参加することを申し出て、地域の活動に貢献することができた。

#### (6) PTA活動のスリム化

少子化や共働き世帯が増えたことなどで、PTA活動に参加する時間の余裕がない保護者が増えてきている。そこで、PTA活動のスリム化についてPTA役員と協議してきた。「できる人が、できると時に、できることを」をモットーにあいさつ運動のボランティア制を導入した。毎月11日の登校時に、PTA役員中心にボランティアで集まったPTAが、通学路に立って交通指導をした。また、教員は毎週、月曜日と木曜日、試験週間に下校指導をしており、学校と地域が協働で生徒の交通安全を見守ることができた。



【挨拶運動の様子】

また、PTA活動の負担であった研修の見直しも役員会で協議したところ、もともと学校で行われている生徒対象の講演会にPTAが参加して、研鑽を積んでいけるよう計画した。本校では「思春期講座」「薬物乱

用防止教室」「人権講話」「マナー講座」など、学年や学校全体で取り組む外部講師による講演会が行われている。講演会の案内をCANVAで分かりやすく作成し、保護者やコミュニティ・スクールの方々に配付したり、メールで添付し送信したりした。聴講を希望する保護者は少数ではあるが、役員以外の参加者もあり、研修を通して、学校の様子を知つてもらう機会が増えた。

#### (7) 部活動地域展開に向けての取組

津島市では各学校（部活動指導者・生徒・保護者）のニーズを踏まえた上で、過渡期のあり方として休日の部活動を部活動指導員の参加による地域展開を進めたいと考えている。そこで、本校では第1回学校運営協議会で「中学校の部活動の地域展開」を熟議の議題とし、今後のあり方について意見を交わす場を設けた。

そして、津島市地域コーディネーター等研修会・情報交換会の場で、8小学校に対して、市共通の部活動アンケート調査をして意見集約をしてほしいことを要望した。

#### 4 おわりに

地域ボランティアによる読み聞かせ活動では、生徒が温かな雰囲気で地域の方を迎へ、双方にとつて貴重な交流の場となつた。「ふるさと津島・あかつきの日」や協働避難体験を通して、生徒は地域の歴史や文化、防災意識を学び、地域の一員としての自覚を深めることができた。

さらに、PTAと地域が連携して進めた親子協働除草作業やあいさつ運動は、学校と家庭、地域が互いを支え合う関係づくりに大きく寄与した。PTA活動のスリム化を図りつつ、PTAが「できる時にできること」を実践する取組は、持続可能な協働のモデルとなっている。

今後も、コミュニティ・スクールとして、PTAや地域の多様な人々が対等な立場で参画し合い、「地域とともに育つ学校」「地域の未来を支える生徒」を育成していくことを目指したい。



【思春期講座の案内】



【PTA常任委員会の様子】